**2016年総会資料　　　　　　　　　　　　　　2016年3月29日**

**■2016年度体制**

代表：佐治与志也
リーダー部長：舘野健司
リーダー部：今井 敏樹、長野 弘志、浅原久子、早田俊彦
会計・保険：桑原 秀司
名簿：徳山 初恵
装備：岩崎 英也
安全対策：長野 弘志、今井 敏樹、早田俊彦
たきび：（嶋 牧子）、佐治 与志也＋募集中
ホームページ：坂口ゆみこ、徳山初恵、田中美穂
新人連絡：舘野 健司
山行管理・集計：坂口ゆみこ
会場確保：舘野 健司
労山区連盟連絡：桑原 秀司
会友連絡：佐治 与志也
都連盟救助隊：舘野健司

**■2016年度リーダー部方針**

**まず、手段と目的の話をします。**

**皆さんが銀座山の会に在籍する最大の目的は何でしょう？**

**それは、「気持ちよく、安全に登山を楽しむ」ことだと思います。会の運営はその目的を遂行するための手段として行います。運営が目的になってしまっては本末転倒です。**

**会員が気持ちよく、安全に登山を楽しむにはどうしたら良いか？**

**運営は常にそのことを考えながら行わなければなりません。**

**そのことを踏まえて2016年度のリーダー部方針を下記の通りに考えています。**

**●山に行きやすい風通しの良い会を目指す。**

**●新入会員募集に力を入れる。**

**●50周年記念行事の提案。**

リーダー部では上記の3点に力を入れたいと考えています。具体的には下記のようなことを実行したいと思います。

**●山に行きやすい風通しの良い会を目指す**

1. 代表、リーダー部、各係のメンバーを執行部とし、月2回の例会のうち最初の1回を執行部会として、会の中での決め事をそこで話し合う場にしようと思います。執行部会は執行部員以外の方でも「参加したい！！」という人がいれば大歓迎です。　　　　執行部は会の運営を考える機関ですので、基本的には会に対し、ある程度時間がさける人がならないと機能しません。しかし、会員全員がごく普通の一般社会人ですので、現実は仕事の事情、家庭の事情など様々な事情で会に時間がさけない会員が大勢います。私はそのような状況にある会員は、まず山に行くことが第一優先で良いと思っています。つまり執行部は「動ける人が動く」が基本です。動ける人にとって運営はボランティアになってしまいますが、ぜひ協力をお願いします。
2. 会員には志向の違い、体力の違い、相性などがあり、何もしなければ、自然にメンバーが固定化してしまう傾向にあります。このことにより「久しぶりに例会に来ても話が合わずに疎外感を感じる。」という意見もあります。そこで年に3回（春・夏・秋）会員全員が参加できる親睦山行を実施します。これは、訓練山行、クリーンハイク、都民ハイクとは別に考えています。親睦山行は強制的ではなく、自由参加でリーダー部が交代で2～3人が担当して楽しそうな企画を考えます。目的は会の親睦を深めることですので、様々な事情で普段なかなか参加できない会員も含め、多くの会員が参加できる山行を企画します。（例、5月のある休日に日帰りでヤシオツツジを見に袈裟丸山に沢と尾根から集中登山！！）予定が組みやすいように基本的には実施日の2か月前位には日程を決めて、メーリングリストで公募するのが良いと思っています。

これは言い出しっぺが私ですので、私はやる気満々です。リーダー部の皆さん、順番で構いませんので協力をお願いいたします。

1. 一部で物議をかもしだしている「他会ともかけ持ち」についてですが、会として賛成の立場をとります。理由は、皆さんも会員外に山友達がいる方は多いと思います。そして時にはそういう人達と一緒に山に登りたいと思っていると思います。それがたまたま他会の人だったら・・・。と思えば反対する気にはなれません。それに、他会から得た知識や情報が銀座にとって有意義なことも多いと思います。「自炊宿・山菜山行」などは昔の銀座にはない形態でしたが、今では銀座のスタンダードとして多くの会員が楽しんでいます。「風通しの良い会」を目指すにあたってこの考えは徹底したいと思います。
2. 2016年度は訓練山行・クリーンハイク・忘年山行も「会員同士の親睦や共通した知識を持つ」という目的で実施していきたいと思います。早速ですが、今年のクリーンハイクは労山の補助がでてリーズナブルな価格で前夜祭が実施される予定ですので、クリーンハイクの前日に岩登りの訓練山行を実施することを提案します。本格的な沢登りシーズン直前ですのでタイミングもバッチリだと思いますがいかがでしょうか？また、忘年山行もただ宴会目的にするのではなく、前日に会員の親睦を兼ねた集中ハイキングなどを企画しても楽しいと思います。雪訓に関しては、雪バリ派と山スキー派はやることが違うと思いますのでそれぞれに考えて実施してゆけば良いと思います。その辺りは、安全対策係りの魅力ある提案を期待しています。そういった意味でも安全対策係りは複数のメンバーでやることが理想だと思います。
3. 留守本部は、可能な限り会員に依頼する方が望ましいと思います。それでも留守本部の依頼に苦労することがあることも事実ですので、必ず、というのは難しいと思います。理想はリーダー部のメンバーが山に行かない週は留守本部を引き受けるということだと思いますがいかがでしょうか。

**●新入会員募集に力を入れる**

1. 現状，銀座山の会は高齢化街道まっしぐらです。正直、新入会員を募集して入会を促すのは今が最後のチャンスだと思います。
2. 新人獲得の有効な手段は何といってもホームページです。それもまめに更新されるホームページです。幸いなことに坂口さんと徳山さんと田中(美)さんがその気になってくれています。何としても短期間で魅力的なホームページを作成していただきたいと思っています。
3. ホームページ作成にあたってある程度の予算が必要になると思います。予算の確保は重要だと思いますので、会計係りの桑原さんと相談して大まかな費用を算出してほしいと思います。多少費用が掛かっても魅力的なホームページが完成、維持できることを期待しています。もちろん、山行報告などできることは協力させていただきます。

**●50周年記念行事の提案**

1. 具体的にはまだ考えていませんが、「記念集中山行」「記念特集たきびの発行」など・・・。他にいいアイデアを募集します。
2. これもある程度予算を入れておいた方が良いと思います。比較的財政に余裕があるようですので、長野から提案があったＯＢを含めたイベントを考えるのも良いと思います。積極的に意見交換をして充実した50周年を迎えましょう！！